

<b>授業科目</b> 検査と治療法概説 I (1) 臨床検査	<b>区分・教育内容</b>		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
<b>授業担当者</b> 非常勤講師 (医師)	<b>開講時期</b>	<b>単位</b>	<b>時間数</b>
	中期	1 単位	14 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 臨床検査・放射線検査・放射線治療についての基礎的知識を習得する。			
<b>授業の目標</b> 基本的な知識と臨床検査の役割を理解する。			
<b>授業概要</b> <p>テキストを基に、臨床検査の知識と、そこに係る自らの役割を理解し、実践できることを目標とする。</p> <p>臨床検査は、正しい診断のために正しく実施されなければならない。正しく検査が実施されるためには、患者へ正確な情報を伝えたり、正しい検体で正しい採取をし、保存、検査室への搬送をすることなど、看護師の力が必要となる。そのための知識をしっかりと身につけて欲しい。</p> <p>また、様々な検査データから対象の状態をある程度予測し、看護に活かせるようになって欲しい。</p>			
<b>授業計画(進め方)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 回目 臨床検査の基本・尿検査</li> <li>2 回目 血液検査・凝固検査</li> <li>3 回目 臨床生化学検査</li> <li>4 回目 輸血検査・細菌検査</li> <li>5 回目 事例検討 グループでアセスメントする</li> <li>6 回目 事例検討交流会 まとめ</li> <li>7 回目 心電図検査</li> </ul>			
<b>テキスト</b> 新体系 看護学全書 別巻 臨床検査 メヂカルフレンド社			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 検査と治療法概説 I 100 点満点中の 50 点			

<b>授業科目</b> 検査と治療法概説 I (2) 放射線検査	<b>区分・教育内容</b>		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
<b>授業担当者</b> 古村 真樹 (中通総合病院)	<b>開講時期</b> 中期	<b>単位</b> 1 単位	<b>時間数</b> 8 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 臨床検査・放射線検査・医療機器についての基礎的知識を習得する。  <b>授業の目標</b> 放射線及び放射線検査の特徴を理解する。			
<b>授業概要</b> 医療において画像診断の必要性、重要性は益々高まっている。しかし、患者さんは放射線やその検査について少なからず不安を抱いている。それは放射線被ばくという問題や、検査の安全性に対する疑問などが患者さんの中で納得できないからである。 看護師が、放射線に対する正しい知識をもって過度な放射線不安を克服することは、同じように不安を抱く患者さんへの正しい説明と、より良い看護の提供に繋がる。場合によってはあなた自身が放射線診療従事者の一員となる場合もあることから、検査や治療の特徴をよく理解する。 いつも患者さんの傍にいて患者さんのことを良く知る看護師は患者さんにとって、とても安心できる存在となる。授業で習った知識がその一助となることを期待する。  <b>授業計画(進め方)</b> テキスト「放射線診療と看護」に沿ってスライドを用いながら授業を進める。 1 回目 放射線の基礎及び医療への応用 2 回目 エックス線診断の実際と看護 3 回目 I V R の実際と看護 4 回目 M R I 検査及び核医学検査の実際と看護			
<b>テキスト</b> 新体系 看護学全書 別巻 放射線診療と看護 メヂカルフレンド社			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 検査と治療法概説 I 100 点満点中の 25 点			

<b>授業科目</b> 検査と治療法概説 I (3) 放射線治療	<b>区分・教育内容</b>		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
<b>授業担当者</b> 小松 喜行 (中通総合病院)	<b>開講時期</b>	<b>単位</b>	<b>時間数</b>
	中期	1 単位	8 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 放射線治療の物理的・生物的背景を習得する。また、放射線治療における副作用及び、副作用の治療方法を習得する。			
<b>授業の目標</b> がん治療の 3 本柱の一つである放射線治療の概略を理解する。			
<b>授業概要</b> がん治療において放射線治療の必要性、重要性は益々高まっています。そこで、安心、納得して放射線治療が受けられるように患者さんと家族に役立つ知識を学ぶ (特に放射線治療の副作用及び副作用の治療方法)。			
<b>授業計画 (進め方)</b> テキスト「放射線診療と看護」に沿って、スライドを用いながら授業を進める。			
1 回目 放射線治療概論・技術			
2 回目 放射線治療のプロセス、適応と治療方針、1 回目のまとめ Q & A			
3 回目 放射線治療の副作用とケア、2 回目のまとめ Q & A			
4 回目 疾患別の放射線治療、全授業のまとめ Q & A			
<b>テキスト</b> 新体系 看護学全書 別巻 放射線診療と看護 メヂカルフレンド社			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 検査と治療法概説 I 100 点満点中の 25 点			